

## プレスリリース

平成 17 年 10 月 19 日  
社団法人 日本物流団体連合会

今秋のモーダルシフトフォーラムは「推進決定モデル事業」を紹介

日本物流団体連合会は例年「モーダルシフトフォーラム」を各地で開催してきたが平成 15 年の四国での開催で全国を一巡したとして、昨年は内容を一新し国土交通省の「環境負荷の小さい物流体系を目指す実証実験」に認定された成功事例の講演とパネルディスカッションを行った。

今年は更に趣向を変え、グリーン物流パートナーシップ会議でのモデル事業に名乗りをあげた提案の中から選び、提案者によるプレゼンテーションと会場及びコメンテーターとの質疑応答を実施することにした。既に 65 件の提案の中から推進決定事業 33 件が発表されているが、物流連としてはこの推進決定事業から、新規性、環境対応効果度、パイロット的役割、パートナーシップ度等を勘案した独自の基準で紹介案件四件を近く決定することになっている。

京都議定書目標達成計画における物流事業者の CO2 削減目標達成に向けて、荷主との連携をともなった事業展開が奏効するか否かが問われる今日、推進決定事業を同フォーラムの場で紹介することは時宜を得た意義あることとして企画したものである。

「モーダルシフトフォーラム 2005」の開催は下記のとおり

日時：平成 17 年 11 月 30 日（水）13：00 - 16：00（予定）

場所：東京 永田町「キャピトル東急ホテル」紅真珠の間

尚、同「モーダルシフトフォーラム 2005」申し込みなど詳細案内は物流連のホームページ <http://www.butsuryu.or.jp> にて近日中に公表する予定。

以上